

令和7年度 第1回 高知市地域包括支援センター運営協議会

日 時：令和7年7月8日（火） 18時30分～20時30分
会 場：高知市保健福祉センター 3階 大会議室

会 次 第

- 1 開会挨拶
- 2 会長及び副会長選任
- 3 報告事項 令和6年度事業報告
- 4 協議事項 令和7年度事業計画
- 5 その他 ・介護予防事業所の指定状況について
- 6 閉会

高知市健康福祉部 高知市基幹型地域包括支援センター

令和7年度 第1回高知市地域包括支援センター運営協議会資料

1	高知市地域包括支援センター運営協議会条例	P 1
2	高知市地域包括支援センター運営協議会委員人簿	P 3
3	高知市地域包括支援センターの設置状況及び人員体制	P 4
4	令和6年度 地域包括支援センター事業報告	P 12
5	令和7年度 地域包括支援センター事業計画	P 28
6	資料	P 30

1 高知市地域包括支援センター運営協議会条例

高知市地域包括支援センター運営協議会条例

(平成 27 年 4 月 1 日条例第 48 号)

改正 令和 2 年 1 月 1 日条例第 14 号

(設置)

第 1 条 高知市地域包括支援センター（介護保険法（平成 9 年法律第 123 号）第 115 条の 46 第 1 項に規定する地域包括支援センターをいう。以下「センター」という。）における事業の公正性及び中立性の確保を図り、その適切な運営を推進するため、高知市地域包括支援センター運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

【介護保険法（平成 9 年法律第 123 号）第 115 条の 46 第 1 項】

(所掌事項)

第 2 条 運営協議会は、次に掲げる事項について、調査及び審議を行うものとする。

- (1) センターの設置等に関する事項
- (2) センターの運営に関する事項
- (3) センターの職員の確保に関する事項
- (4) 地域包括ケアシステムに関する事項
- (5) 前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事項

(組織)

第 3 条 運営協議会は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する委員 9 人以内をもって組織する。

- (1) 介護保険の被保険者（第 1 号被保険者又は第 2 号被保険者をいう。）
- (2) 介護サービス又は介護予防サービスの利用者
- (3) 介護サービス又は介護予防サービスに関する事業者及び職能団体（医師、歯科医師、看護師、介護支援専門員、機能訓練指導員等で組織する団体をいう。）等の代表者
- (4) 市民の権利を擁護し、又は相談に応ずる団体等の代表者
- (5) 前各号に掲げる者のほか、地域ケアに関する学識経験を有する者

(会長及び副会長)

第 4 条 運営協議会に、会長及び副会長 1 人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、運営協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を行う。

(委員の任期)

第 5 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会議)

第 6 条 運営協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

2 運営協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(資料提供その他の協力等)

第 7 条 運営協議会は、その所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係部局その他の者に対し、資料の提出、意見の表明、説明その他必要な協力を求めることができる。

(守秘義務)

第8条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第9条 運営協議会の庶務は、健康福祉部において処理する。

(その他)

第10条 この条例に定めるもののほか、運営協議会の運営について必要な事項は、会長が運営協議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日において置かれていた高知市地域高齢者支援センター運営協議会（高知市地域高齢者支援センター運営協議会設置要綱（平成18年2月10日制定）の規定に基づき組織されたものをいう。）は、運営協議会となり、同一性をもって存続するものとする。

附 則（令和2年1月1日条例第14号）

この条例は、公布の日から施行する。

2 高知市地域包括支援センター運営協議会 委員人簿

氏 人	所属団体・役職人	備 考
もりした やすこ 森下 安子	高知県立大学看護学部 特任教授	条例第3条第5号に基づく委員
ふじい たかあき 藤井 貴章	(一社) 高知市医師会 理事	条例第3条第3号に基づく委員
おおの みずほ 大野 瑞穂	高知県老人福祉施設協議会 理事	条例第3条第3号に基づく委員
なかもと まさひこ 中本 雅彦	(公社) 認知症の人と家族の会高知県支部 副代表	条例第3条第4号に基づく委員
わだ まき 和田 真樹	高知市居宅介護支援事業所協議会 会長	条例第3条第3号に基づく委員
ふるや まり子 古谷 まり子	社会福祉法人高知市社会福祉協議会 共に生きる課 課長	条例第3条第5号に基づく委員
おおくぼ あきら 大久保 晃	(一社) 高知市医師会 理事	条例第3条第5号に基づく委員
ありた よしふみ 有田 佳史	(一社) 高知市歯科医師会 副会長	条例第3条第5号に基づく委員
なかや ゆうこ 中屋 優子	高知市民生委員児童委員協議会連合会 副会長	条例第3条第5号に基づく委員

任期 : 令和7年4月1日 から 令和9年3月31日 まで

3 高知市地域包括支援センターの設置状況及び人員体制

(1) 人口・高齢者人口の推移（各年4月1日時点）

年度	人口	65歳以上人口	高齢化率
平成30年	330,019人	94,888人	28.8%
令和元年	328,283人	95,875人	29.2%
令和2年	325,706人	96,582人	29.7%
令和3年	323,544人	97,221人	30.0%
令和4年	320,722人	97,373人	30.4%
令和5年	317,639人	97,085人	30.6%
令和6年	314,116人	97,321人	31.0%
令和7年	310,029人	97,111人	31.3%

(2) 圏域別高齢者人口（令和7年4月1日現在）

圏域	人口	65歳以上人口	高齢化率
南街・北街・江ノ口	23,738人	7,374人	31.1%
上街・高知街・小高坂	17,239人	5,637人	32.7%
下知・五台山・高須	29,450人	7,604人	25.8%
三里	10,334人	3,984人	38.6%
布師田・一宮	25,593人	7,347人	28.7%
秦	16,047人	4,786人	29.8%
大津・介良	22,198人	6,487人	29.2%
朝倉	26,954人	8,008人	29.7%
旭街	32,820人	10,737人	32.7%
初月・鏡	16,376人	4,770人	29.1%
鴨田	24,932人	7,810人	31.3%
潮江	24,833人	8,002人	32.2%
長浜・御畳瀬・浦戸	25,342人	9,008人	35.5%
土佐山	839人	361人	43.0%
春野	13,334人	5,196人	39.0%
総数	310,029人	97,111人	31.3%

(3) 認定状況（令和7年3月末時点。住所地特例者を除く）

（単位：人）

圏域	人口	65歳以上人口	要支援・要介護認定者数	認定率 (第1号)	第1号被保険者		第2号被保険者	
					要支援	要介護	要支援	要介護
南街・北街・江ノ口	23,738	7,374	1,574	21.0%	446	1,101	6	21
上街・高知街・小高坂	17,239	5,637	1,214	21.1%	367	824	11	12
下知・五台山・高須	29,450	7,604	1,277	16.5%	322	931	9	15
三里	10,334	3,984	894	22.2%	278	607	5	4
布師田・一宮	25,593	7,347	1,309	17.6%	357	936	7	9
秦	16,047	4,786	936	19.3%	253	670	5	8
大津・介良	22,198	6,487	1,192	18.1%	317	854	9	12
朝倉	26,954	8,008	1,789	22.0%	468	1,294	8	19
旭街	32,820	10,737	2,132	19.6%	566	1,541	7	18
初月・鏡	16,376	4,770	867	18.0%	228	630	2	7
鴨田	24,932	7,810	1,561	19.7%	489	1,047	6	19
潮江	24,833	8,002	1,789	22.1%	548	1,220	10	11
長浜・御畳瀬・浦戸	25,342	9,008	1,945	21.3%	498	1,423	9	15
土佐山	839	361	82	22.2%	16	64	0	2
春野	13,334	5,196	970	18.5%	238	721	3	8
総数	310,029	97,111	19,531	19.8%	5,391	13,863	97	180

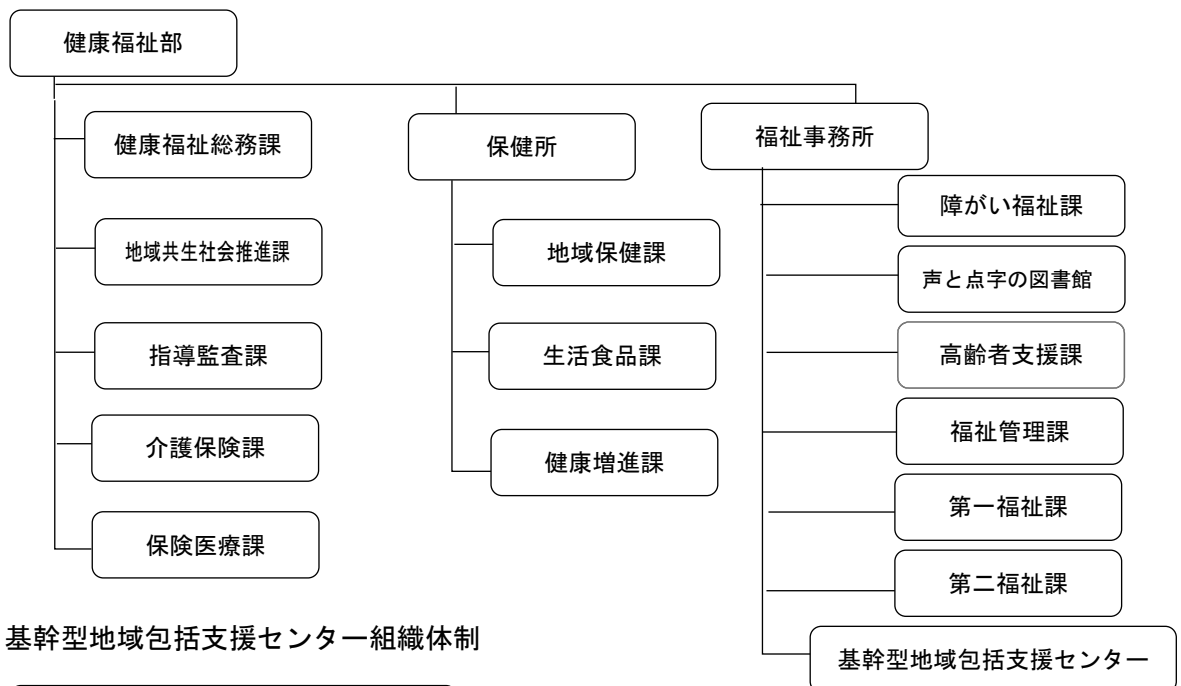
* 認定率 19.8%

（第1号被保険者のうち要支援・要介護認定を受けている者の数を65歳以上人口で割った数）

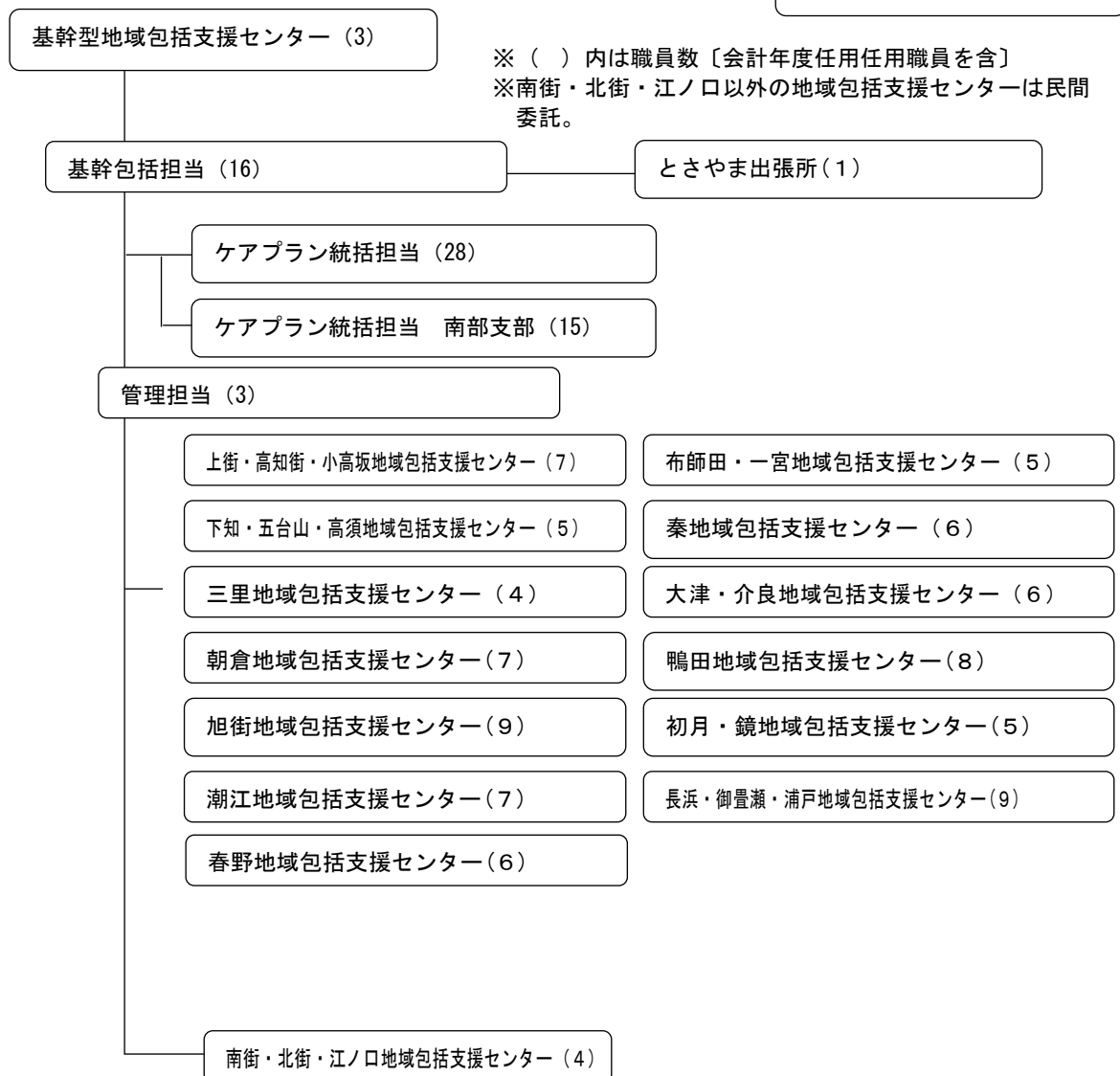
事業対象者数：97人（令和7年3月31日時点）

(4) 高知市の概況

ア 高知市健康福祉部組織体制



イ 基幹型地域包括支援センター組織体制



(5) 高知市地域包括支援センター

ア 基幹型地域包括支援センター

(7) 高知市地域包括支援センター運営協議会に関する事

(イ) 権利擁護・高齢者虐待予防支援に関する事

(ウ) 地域ケア会議に関する事

(エ) 生活支援体制の整備に関する事

(オ) 認知症施策の推進に関する事

(カ) 介護給付適正化事業に関する事

(キ) 地域包括支援センター支援に関する事

(ク) 介護予防ケアマネジメントに関する事

(ケ) 成年後見制度に関する事

等

イ 地域包括支援センター

(7) 総合相談支援

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行う。

(イ) 権利擁護

地域の住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のため必要な支援を行う。

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、在宅・施設を通じた地域における包括的・継続的なケア体制の構築に向けて、介護支援専門員に対する個別相談支援や介護支援専門員のネットワーク化、地域における多職種多機関の連携・協働の体制づくりを行う。

(エ) 介護予防ケアマネジメント

高齢者の介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況、置かれている環境その他の状況に応じて、目標を設定し、その達成に向けて支援を行う。心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割を持って生活できるような居場所に通い続ける等、「心身機能」「活動」「参加」の視点を踏まえて支援を行う。

(6) 地域包括支援センターの整備状況

ア 地域包括支援センター，出張所設置状況

	地域包括（高齢者）支援センター	出張所（在宅介護支援センター）
第1期 (平成12～平成14年)	○基幹型在宅介護支援センターを介護保険課内に開設	○既存の在宅介護支援センターを引き続き運営(15か所・委託)
第2期 (平成15～平成17年)	○平成17年1月～ 土佐山村・鏡村と合併	○平成17年1月～ 以下の地区の在宅介護支援センター運営を委託 土佐山地区：高知市社協 鏡地区：(医)山村会
第3期 (平成18～平成20年)	○平成18年4月～ 東西南北の各圏域に地域高齢者支援センターを開設（直営4か所） ○平成19年4月～ 西部健康福祉センター開館に伴い，西部地域高齢者支援センターを1センター(鴨部)，1サブセンター(旭)体制に変更	○平成18年4月～ 在宅介護支援センターを出張所へ移行 ○平成18年4月～ 「しんぼり」の運営法人が(医)高田会へ変更
第4期 (平成21～平成23年)	○平成20年1月～ 春野町と合併 春野地域高齢者支援センター開設	○平成23年4月～ 「五台山」「桂浜」2人体制へ ○平成23年6月～ 「いっく」2人体制へ
第5期 (平成24～平成26年)	○平成26年4月 社会福祉士2人を新規採用	○平成24年9月～ 「かもだ」2人体制へ ○平成24年12月～ 「いっく」1人体制へ ○平成25年2月～ 「いっく」2人体制へ ○平成25年11月～ 「五台山」1人体制へ ○平成26年4月～ 「うしおえ」「城西」2人体制へ ○平成26年9月～ 「しんぼり」の運営法人が(医)山口会へ変更
第6期 (平成27～平成29年)	○平成27年4月 社会福祉士2人を新規採用 ○平成28年4月 社会福祉士1人を新規採用 主任介護支援専門員3人を新規採用（任期付）	○平成27年4月～ 「あさくら」2人体制へ ○平成29年1月～ 「しんぼり」2人体制へ
第7期 (平成30～令和2年)	○令和元年度 「上街・高知街・小高坂」「下知・五台山・高須」「三里」「布師田・一宮」「秦」「大津・介良」6箇所委託，「南街・北街・江ノ口」直営運営開始 ○令和2年度 「旭」「潮江」「初月・鏡」「朝倉」「鴨田」「長浜・御畳瀬・浦戸」6箇所委託，「春野」直営運営開始 ○介護支援専門員雇用形態変更	○平成31年4月～ 「旭」2人体制へ ○令和2年1月 「ぬのしだ」「みさと」「五台山」「しんぼり」「いっく」「いずみの」「えのくち」「城西」出張所廃止 ○令和2年度 「あさくら」「かもだ」「旭」「みかづき」「よこはま」「うしおえ」「桂浜」出張所廃止

<p>第 8 期 (令和 3～令和 5 年)</p>	<p>○令和 3 年度 地域包括支援センターの再編が完了し、全 14 センター(直営 2 箇所、委託 12 箇所)、1 出張所の体制で運営開始。 ○主任介護支援専門員 3 人採用、社会福祉士 2 人配置 ○令和 5 年度 春野地域包括支援センターを民間委託。(直営 1 箇所、委託 13 箇所) 「上街・高知街・小高坂」「三里」「布師田・一宮」「秦」「大津・介良」「春野」地域包括支援センターにて、生活支援コーディネーターを配置。 「上街・高知街・小高坂」「秦」「春野」地域包括支援センターにて、ケアプランナーを配置。</p>	<p>○令和 3 年度～ 「とさやま」出張所のみ、直営で運営継続。</p>
<p>第 9 期 (令和 6～令和 8 年)</p>	<p>○令和 6 年度 「下知・五台山・高須」「旭」「潮江」「初月・鏡」「朝倉」「鴨田」「長浜・御畳瀬・浦戸」地域包括支援センターにて、生活支援コーディネーターを配置。 「旭」「潮江」「朝倉」「鴨田」「長浜・御畳瀬・浦戸」「三里」「大津・介良」地域包括支援センターにて、ケアプランナーを配置。</p>	<p>○令和 6 年度～ 令和 3 年度から引き続き「とさやま」出張所のみ、直営で運営継続。</p>

イ 地域包括支援センター（直営）の人員体制

職種	年度	センター		総計
	令和6年	基幹	南郷・北郷・江ノ口	
	令和7年	基幹	南郷・北郷・江ノ口	
保健師・看護師	令和6年	4	1	5
	令和7年	5	1	6
社会福祉士	令和6年	7	2	9
	令和7年	7	2	9
主任 介護支援専門員	令和6年	4	1	5
	令和7年	4	1	5
事務等	令和6年	8	0	8
	令和7年	8	0	8
総計	令和6年	23	4	27
	令和7年	24	4	28

ウ 地域包括支援センター（委託）人員配置

センター	人員	職種
	R7	
上街・高知街・小高坂	7	看護師, 社会福祉士, 主任介護支援専門員に準ずる者, 生活支援コーディネーター, ケアプランナー, 事務員
下知・五台山・高須	5	保健師, 社会福祉士, 主任介護支援専門員, 生活支援コーディネーター
三里	4	保健師, 社会福祉士, 主任介護支援専門員, ケアプランナー
布師田・一宮	5	保健師, 社会福祉士, 主任介護支援専門員, 介護支援専門員, 生活支援コーディネーター
秦	6	保健師, 社会福祉士, 主任介護支援専門員, 生活支援コーディネーター, ケアプランナー, 事務員
大津・介良	6	保健師, 社会福祉士, 社会福祉主事, 主任介護支援専門員, 生活支援コーディネーター, ケアプランナー
朝倉	7	看護師, 社会福祉士, 主任介護支援専門員, 生活支援コーディネーター, ケアプランナー, 事務員
鴨田	8	看護師, 社会福祉主事, 主任介護支援専門員, 生活支援コーディネーター, ケアプランナー, 事務員
旭街	9	保健師, 看護師, 社会福祉士, 主任介護支援専門員, 生活支援コーディネーター, ケアプランナー, 事務員
初月・鏡	5	看護師, 社会福祉士, 主任介護支援専門員, 生活支援コーディネーター
潮江	7	保健師, 社会福祉士, 主任介護支援専門員, 生活支援コーディネーター, ケアプランナー, 事務員
長浜・御置瀬・浦戸	9	看護師, 社会福祉士, 主任介護支援専門員, 生活支援コーディネーター, ケアプランナー, 事務員
春野	6	看護師, 社会福祉士, 主任介護支援専門員, 生活支援コーディネーター, ケアプランナー, 事務員
総計	84	

工 地域包括支援センター運営協議会開催状況

日程	主な協議事項
令和6年8月5日	令和5年度事業報告・令和6年度事業計画
令和7年1月10日	地域包括支援センター職員配置の柔軟化について

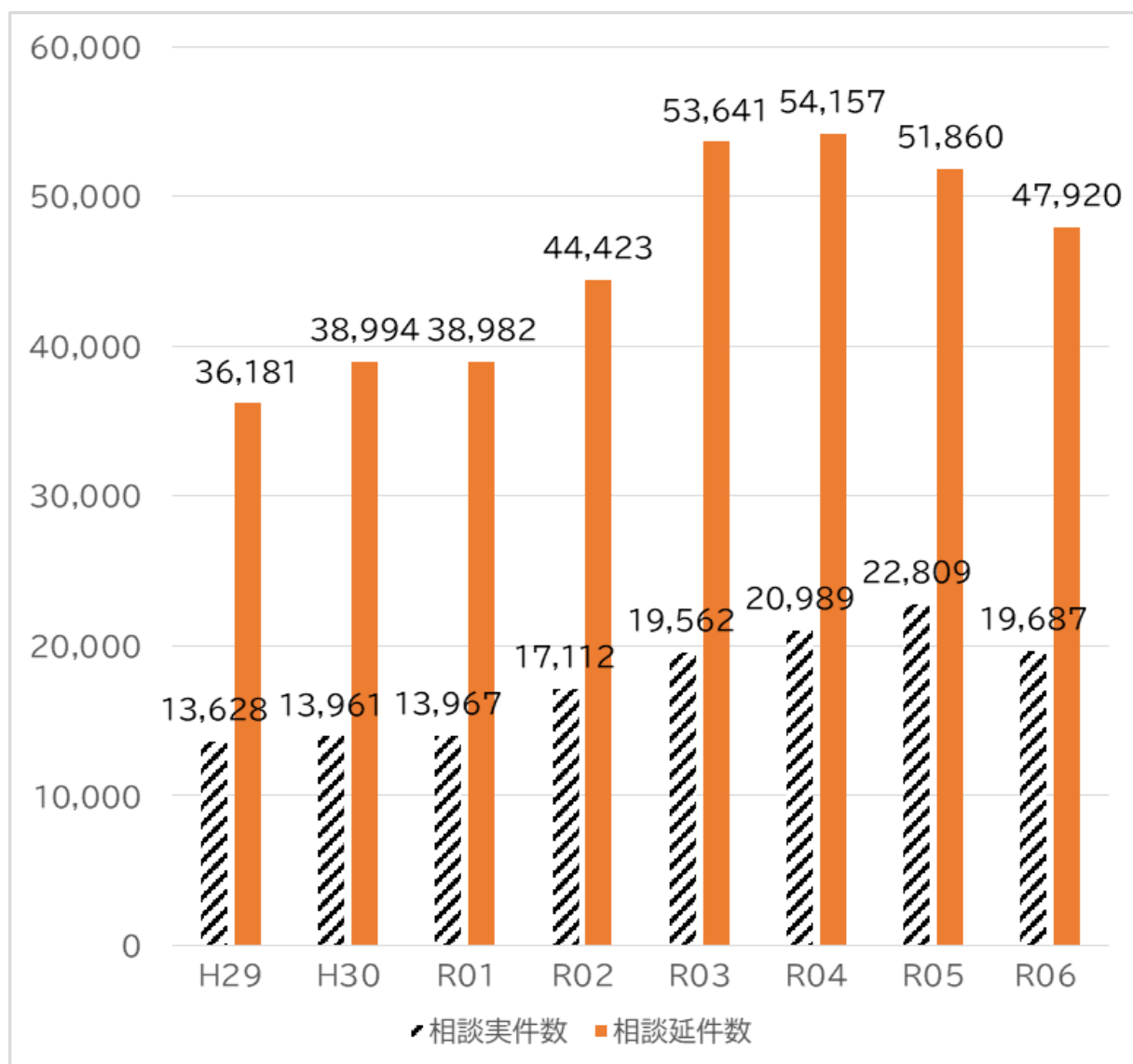
4 令和6年度 地域包括支援センター事業報告

(1) 地域包括支援センターの基本事業

ア 総合相談支援

保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等が、高齢者や家族等からの相談に応じ、適切なサービス利用や機関・制度へつなぎ、継続的な支援を行いました。また、地域ネットワークを通じて高齢者の実態把握に努め、要援護高齢者への早期対応を図りました。

イ 地域包括支援センター相談件数推移（全センター、実・延）



＊平成29～令和2までの相談実件数と相談延件数については、地域高齢者支援センター出張所の相談実件数と延件数を加えた件数となっております。

ウ 地域包括支援センター相談件数（センター別、実・延）

【令和6年4月～令和7年3月】

【直営】

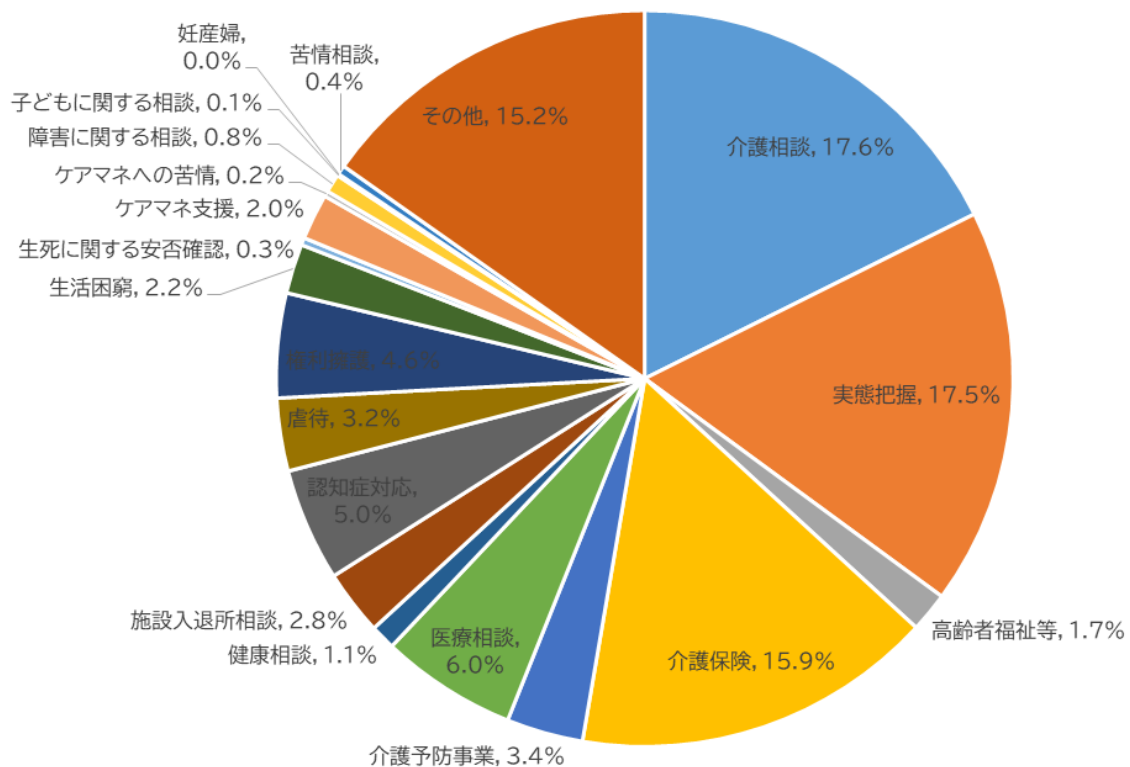
センター	基幹型	とさやま出張所	南街 北街 江ノ口	計
相談実件数	1,185	626	1,148	2,959
相談延件数	2,053	1,338	1,977	5,368

【委託】

センター	秦	上街 高知街 小高坂	一宮 布師田	下知 五台山 高須	大津 介良	三里	春野
相談実件数	1,013	1,345	1,411	1,401	1,241	918	694
相談延件数	2,598	3,261	4,126	3,450	3,774	1,746	2,278
センター	長浜 御畳瀬浦戸	潮江	鴨田	朝倉	初月 鏡	旭	計
相談実件数	1,315	1,990	1,486	1,684	765	1,465	16,728
相談延件数	3,198	4,940	2,933	5,210	1,729	3,309	42,552

エ 地域包括支援センター相談内容

【令和6年度】



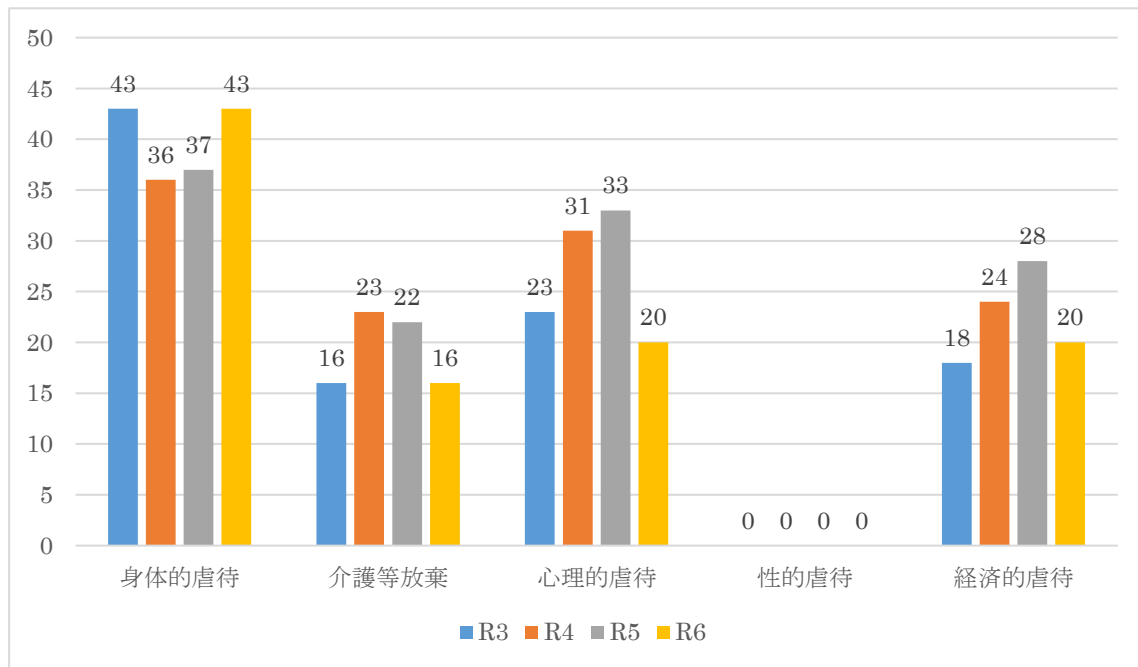
オ 権利擁護

高齢者が自分らしく尊厳ある生活ができるように、高齢者虐待や消費者被害等の権利擁護に関する相談及び支援に取り組みました。

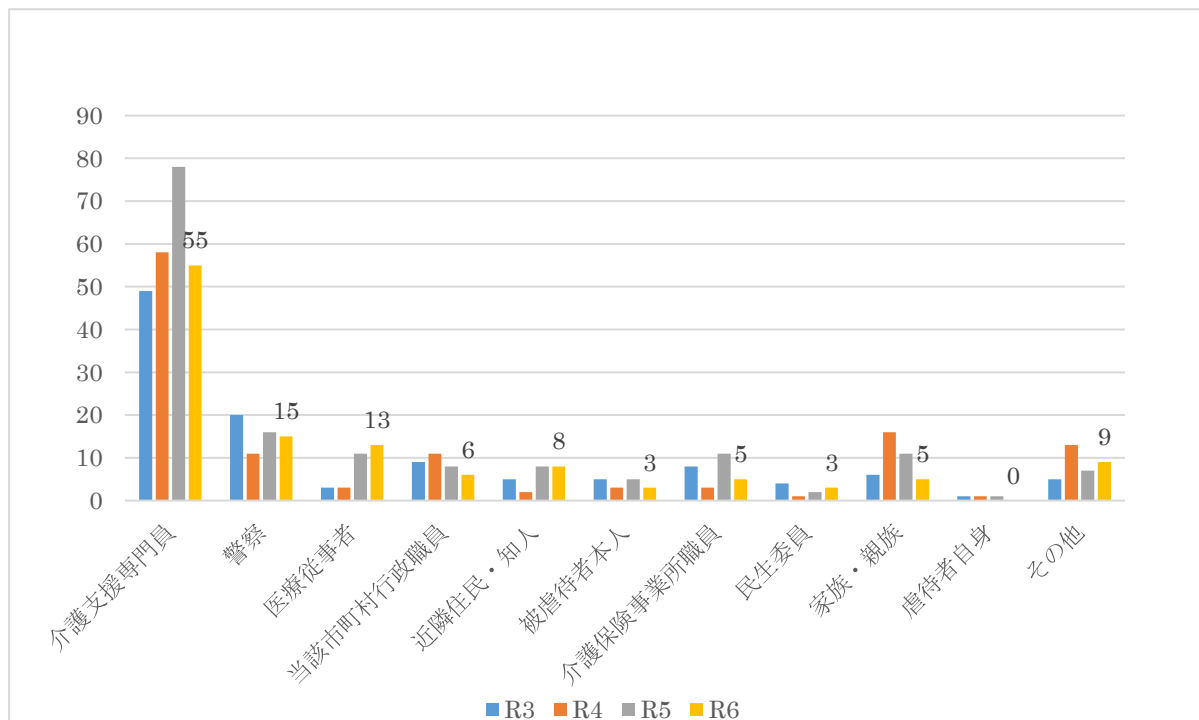
(7) 高齢者虐待相談件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談・通報件数	96	131	111	122	158	121
虐待判断件数	49	86	70	75	77	71

(イ) 虐待の種類 ※総数 75（重複あり）



(ウ) 相談・通報者 ※総数 122



その他内訳：地域包括支援センターなど

カ 研修会

虐待対応における各専門職の役割の理解をテーマに研修を実施しました。
事例演習を通じ、支援を行う際の虐待者、被虐待者に対する向き合い方や、思いの引き出し方が理解でき、参加者の満足度が非常に高い内容でした。

日時・場所	(基幹包括・委託包括) 令和6年9月24日(火)11:00～17:00 対面形式(地域包括支援センター職員 42人 (市民対象) 令和6年12月14日(土)13:30～15:30 ハイブリット形式 28人(会場:18人, リモート:10人) 高知県庁本庁舎 正庁ホール
研修内容	講義・グループワーク
講師	(基幹包括・委託包括対象) 福岡県福津市健康福祉部 いきいき健康課 課長 朝長 弘美 氏 (市民対象) NPO法人「となりのかいご」代表理事 川内 潤 氏

キ ケアマネジメント支援

高齢者が介護保険を始めとするさまざまなサービスを適切に利用できるように、医療機関・サービス事業者等の関係機関との連携促進や、介護支援専門員への支援を行いました。

(7) 高知市居宅介護支援事業所協議会主催の気づきの事例検討会への参加回数

地域包括支援センターを含む高知市内の主任介護支援専門員が、地域の介護支援専門員の育成役を担うことができるよう、指導スキルを習得するための活動として、高知市居宅介護支援事業所協議会の主任介護支援専門員資質向上委員会が取りまとめる、気づきの事例検討会(グループスーパービジョン)や研修に参画しました。

【気づきの事例検討会参加状況】

ブロック	北	南	東	西
参加回数	10	6	6	5

【研修実施・参加状況】

日時・場所	令和6年4月11日(木) 高知市保健福祉センター1階検診講習室 令和6年4月15日(月) 高知市西部健康福祉センター3階大会議室
研修内容	スーパービジョンについて学ぼう
講師	高知市基幹型地域包括支援センター 高岡 秀実 氏

日時・場所	令和7年3月11(火)～12日(水) 9:30～16:00 高知市春野文化ホールピアステージ 小ホール
研修内容	スーパービジョンについてのプロセス理解を深める
講師	日本ケアマネジメント学会副理事長 白木 裕子 氏

(4) ケアマネジャーの資質向上への取組

ケアマネジャーの資質向上に必要となる体系的な研修の一環として、面接技術の向上のための研修や、疾患別に必要となるアセスメントやケアの視点を養うための研修を開催しました。

また、自立支援型ケアマネジメントの実践に向け、課題分析力の向上と、地域でケアマネジメント指導が担える人材の育成を目指し、高知市居宅介護支援事業所協議会と共同で作成した高知市共通アセスメント様式を活用した、アセスメント力向上研修を2回共催しました。アセスメント研修においては、地域包括支援センターの主任介護支援専門員として、講師や演習指導者を担うよう務めています。

また、令和6年度は、高知県子ども・福祉政策部長寿社会課の介護保険担当者から、研修機会の少ない高知県下の介護支援専門員を対象としたオンライン研修の開催を依頼され、試験的に高知県下の介護支援専門員や地域包括支援センターを対象とした研修を開催しました。

開催日時	内容	参加者数
令和6年7月25日(木) 13:30～16:30	ケアマネジメントの質をあげる面接技法とは	対面形式:89人
令和6年10月29日(火) 13:00～16:30	高齢者に多い疾患別ケア～整形疾患編～ ※高知県下の介護支援専門員対象	オンライン形式:128人
令和7年1月31日(金) 13:30～16:40	高齢者に多い疾患別ケア～精神疾患編～ ※高知県下の介護支援専門員対象	オンライン形式:154人
①令和6年6月27日(木) 9:30～17:00 ②令和6年11月28日(木) 9:30～17:00	アセスメント力向上 ※高知市居宅介護支援事業所協議会共催	対面形式 ①54人(内訳 居宅介護支援事業所40人、地域包括支援センター14人) ②会場 64人(内訳 居宅介護支援事業所44人、地域包括支援センター20人)

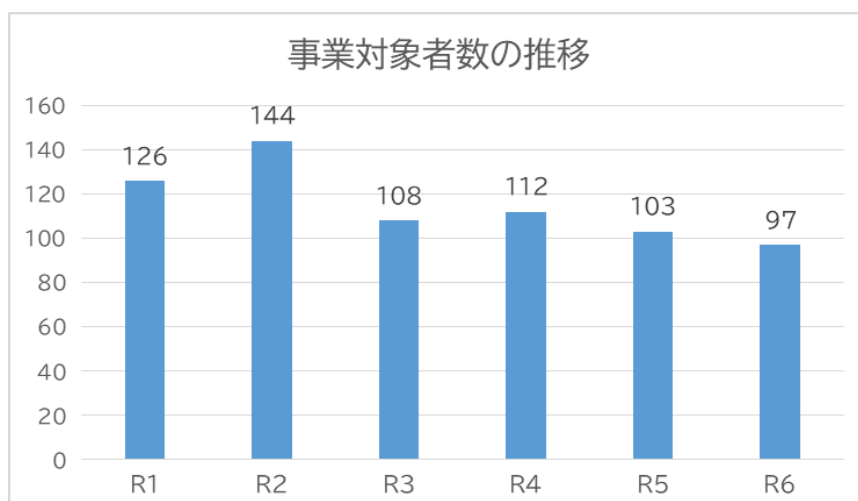
ク 介護予防ケアマネジメント

身体状況の改善・維持を図ることを目的として、介護予防・日常生活支援総合事業のサービスを活用する他、地域にある様々な資源を活かし、利用者の生活機能の向上に対する意欲を引き出し、その人らしい自立を目指したケアマネジメントに取り組んでいます。

(7) 事業対象者数

事業対象者とは、認定更新時期又は新規相談時に総合事業の趣旨を説明し、同意を得られた者のうち基本チェックリストの判定基準を満たした者です。

事業対象者となる基準は7つ(社会生活、運動器機能低下、低栄養、口腔機能低下、閉じこもり、認知機能低下、うつ傾向)です。



※各年度末の事業対象者数

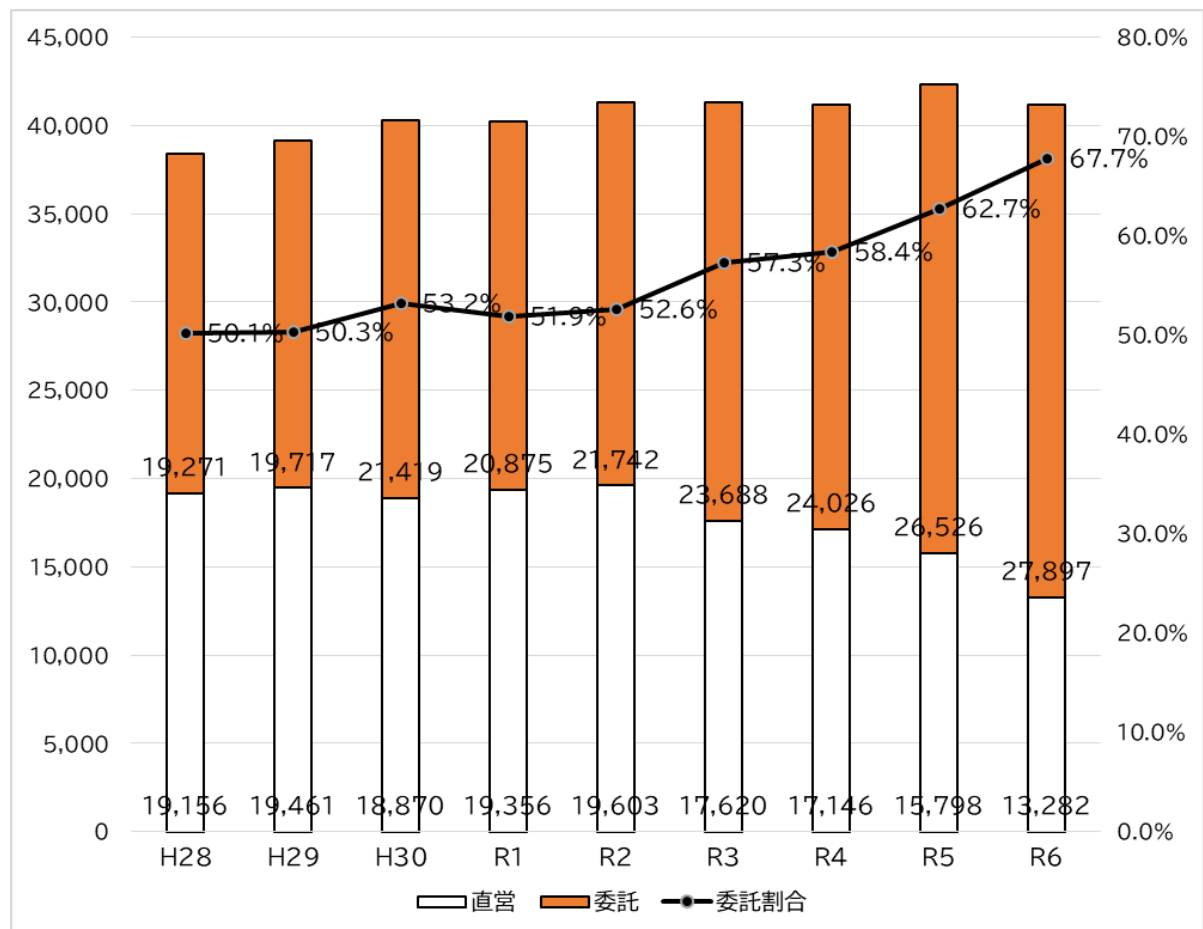
ケ 予防給付ケアマネジメント

予防給付は、要支援状態にあってもその悪化をできる限り防ぐこと（維持・改善）を目的にしています。利用者の生活機能の向上に対する意欲を引き出し、その人らしい自立を目指したケアマネジメントに取り組んでいます。

コ 給付管理件数・委託割合推移

平成 28 年 10 月以降、総合事業の開始に伴い、介護予防支援業務と介護予防ケアマネジメント業務との 2 種類の給付管理を行っています。

(7) 基幹型地域包括支援センター（全施設）



サ 認知症の人への支援体制の充実

(7) 認知症初期集中支援推進事業

40 歳以上で、在宅において生活しており、認知症が疑われる方や認知症の人及びその家族を訪問し、適切な医療・介護を受けることができるように、初期の支援を包括的・集中的に行い、自立した生活のサポートを行う「認知症初期集中支援チーム」を設置しております。

令和 4 年度からは、地域包括支援センターの再編にて 13 か所を委託、直営 1 か所で運営している地域包括支援センターにチームを設置し、合計 14 チームで支援をしております。

令和 6 年度 認知症初期集中支援チーム員実績 ※サービス利用状況については重複あり

※在宅継続率 84.1%（現在対応中で在宅継続されている事例も含む。）

	総数	チーム員対応状況							
		在宅継続(重複有)				チーム対応 終了(実数)	入院 入所	死亡	対応中
		チーム対応終了後の在宅サービス利用状況							
		医療	介護保険 サービス	医療系 サービス	利用無				
南街・北街・江ノ口	9	4	3	2	1	5	1	0	4
上街・高知街・小高坂	5	1	1	0	1	1	0	0	4
秦	7	7	4	0	0	7	1	0	0
布師田・一宮	6	2	1	0	1	3	0	0	3
大津・介良	4	4	1	2	0	2	1	0	2
下知・五台山・高須	6	5	5	2	0	4	1	0	2
三里	3	3	2	1	0	2	0	0	1
春野	5	3	2	2	0	3	1	0	2
旭街	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝倉	8	4	4	5	1	6	1	0	2
初月・鏡	8	5	3	5	0	5	4	0	3
鴨田	6	2	1	2	1	3	0	0	3
潮江	9	9	4	1	0	5	0	0	4
長浜・御畳瀬・浦戸	6	6	3	3	0	3	3	2	3
合計	82	55	34	25	5	49	13	2	33

【認知症初期集中支援チーム員スキルアップ研修会】

認知症の初期の段階から把握し、適切な医療や介護のサービス等につなぐことができるように、認知症初期集中支援チーム員のスキルアップに加え、居宅介護支援事業所も対象に認知症スキルアップ研修会を開催しました。居宅介護支援事業所協議会と共催にて研修会を開催したことで、認知症初期集中支援事業についての理解にも繋がりました。

開催日時	内容	講師	参加者数
令和6. 9.27	認知症の基本的な病状理解とアセスメントのポイント	高知大学医学部附属病院 上村 直人 氏	147 人 (会場 19 人, リモート 128 人)

シ 認知症カフェの推進

認知症カフェの開設支援や、認知症の人や家族を認知症カフェにつないでいく等の支援をしています。

【認知症カフェ実施状況】（令和7年3月末時点）

圏域	人 称	開催日時	開催場所	開設年月
東 部	ひなたカフェ	毎月 第4土曜日 14:00～16:00	ひなた薬局	H28.10
	和カフェ	毎月 第3金曜日 13:30～15:30	I M C グループホーム高須	H28.11
	認知症カフェけらけら	偶数月第2土曜日 14:00～15:00	有料老人ホームあり通り	R3.7
西 部	つくしカフェ	毎月 第4木曜日 13:30～15:30	グループホーム つくしの里	H26.7
	かがみ笑顔カフェ	毎月 第2金曜日 13:00～15:00	R I O 鏡公民館	H28.5
	あびすわくわくカフェ	毎月第4火曜日 13:00～15:00	宅老所あびす	H29.3
	うめちゃんカフェ	偶数月第1土曜日 14:00～16:00	梅ノ木公民館	H29.6
	オレンジカフェふなおか	毎月第1水曜日 13:30～15:30	船岡団地北集会所	H30.11
	えいとカフェ	毎月 第2水曜日 13:00～15:30	障害者福祉センター	H25.10
	とりごえカフェ	毎月第3木曜日 14:00～15:00	健康カフェとりごえ	H27.4
	おらんくかふえ	毎月第2火曜日 10:00～12:00	イオン旭町店おらんく広場	R03.7
	オレンジサニーカフェ山手	毎月第2金曜日 14:00～16:00	サニーマート山手店	R01.5
	にじいろカフェ	毎月第3金曜日 13:30～15:30	居宅介護支援事業所長瀬	R5.7
	のんびりしー屋	毎週金曜日 14:00～16:00	旭街地域包括支援センター	R5.6
南 部	認知症カフェ停車場 in 瀬戸	毎月第2・4木曜日 14:00～16:00	長浜・御畳瀬・浦戸地域包括支援センター瀬戸サテライト	R03.9
	さくらカフェ	毎月 第2水曜日 13:30～15:30	お遍路ハウス33	H28.11
	オレンジカフェ	毎月 日曜日（週不定） 9:00～11:30	デイサービスセンター はまもと	H28.7
	すまいるカフェ	毎月最終水曜日 13:30～14:30	アネックスホール （大川内科隣）	H30.3
	ほっとカフェうしおえ	毎月第2金曜日 13:30～15:30	六泉寺町公民館	H30.10
	よりそいカフェ	奇数月第4火曜日 14:00～15:30	デイサービスよりそい	H31.1
	はるの“芽”カフェ	毎月第3土曜日 13:30～15:30	はるのガーデン	R6.2
北 部	一宮ふれあいカフェ	毎月第3水曜日 14:00～15:00	有料老人ホーム千金の一日	H27.4
	一宮・ふれあいカフェ別館	毎月 第1木曜日 14:00～15:00	一宮ふれあいセンター	H27.4
	オレンジカフェとさ	毎月 第3木曜日 13:00～15:00	保健福祉センター	H28.1
	あいこうカフェ	毎月 第2日曜日 13:00～15:00	愛幸病院 東館1階ホール	H28.6

	ぬのしだオレンジカフェ	原則 第2火曜日 11:30～14:00	石湊公民館1階会議室	R02.4
	高知おれんじドア	毎月 第3日曜日 13:30～15:30	タウンモビリティ ステーションふくねこ	H30.10
	おしゃべりカフェ 秦	毎月第4木曜日 13:00～15:00	秦の里（宅老所）	R4.6
	よしだサロン	毎月第2火曜日 13:00～15:00	コープよしだ	R4.10
	いせざきこひつじカフェ	年4回	高知伊勢崎キリスト教会	R5.4
	マルナカオレンジサロン	第3金曜日 13:00～15:00	マルナカ高知インター店 紡	R5.11
	土曜の永国寺カフェ	第1土曜日 13:30～15:30	高知県立大学 永国寺キャンパス	R6.4
	認知症カフェ@未来屋書店	第4日曜日 (5月, 8月, 11月, 2月) 11:00～12:00	未来屋書店 高知店	R6.2

【認知症カフェ研修の開催】

認知症カフェの推進を目的として、年に1回程度の研修会を継続的に開催しています。今年度は、講師として矢吹知之氏をお招きし、矢吹氏が運営に携わっている認知症カフェを模擬体験できる内容で実施しました。会場の雰囲気づくりやレイアウトの工夫、地域に根付かせるための取り組みについて、ご講義いただきました。

また、実際の認知症カフェで行われているミニ講話形式を取り入れ、事前に受講者から寄せられた質問に講師が回答するなど、運営上の工夫についても具体的に紹介いただきました。

参加者からは、「実際のカフェに参加したような気持ちになれた」「自分たちのカフェ運営にも取り入れたい」といった感想が寄せられました。

なお、本研修会は高知県との共催により実施し、昨年度に開催された情報交換会は県の主催により行われました。また、認知症施策推進計画に係る策定準備支援事業補助金を活用し、認知症カフェの立ち上げ支援として、矢吹氏によるアドバイザー派遣も年1回実施しています。

日時	内容	参加者数
令和6年9月10日（火）	認知症カフェ研修	ハイブリット形式 86人 (会場31人, リモート55人)

ス 認知症に関する市民等への啓発

令和2年4月より、認知症サポート事業の事務局を健康増進課から引き継ぎ、認知症サポーター養成講座を実施しています。令和6年度は1,901人の認知症サポーターを養成しました(参考: 令和元年度1,372人, 令和2年度680人, 令和3年度587人, 令和4年度919人, 令和5年度1,733人)。

令和6年度も、昨年度に引き続き、高知家希望大使である山中しのぶ氏の協力のもと、認知症当事者のメッセージ動画を養成講座で活用し、認知症への理解促進に努めました。さらに、認知症地域支援推進員を中心に啓発内容の見直しを行い、新しい認知症観の浸透を図ることを目的として、講義内容の改訂を実施しました。また、認知症の本人やご家族に講座へ登壇いただく機会を設け、本人発信を通じて、新しい認知症観の理解促進を図りました。

加えて、鴨田地区においては、認知症サポーター養成講座のステップアップ研修を開催しました。これは新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたもので、コロナ禍以降、初めての再開となりました。地域住民の関心も高く、地域での認知症支援の取り組みなども紹介

するなどして、より実践的な学びを深める機会となりました。

また、認知症サポーター養成講座を契機として、ある民間企業から「認知症にやさしい企業を目指したい」との相談が寄せられ、店舗改装に関する意見交換が認知症当事者との対話の場へと発展するなど、地域における理解と連携の広がりが見られました。

セ 地域ケア会議の充実

各地域包括支援センターでは、個別事例の課題解決を通じて、自立支援に資するケアマネジメント力の向上、支援ネットワークの構築、地域課題の把握を目的に、地域ケア会議を開催してきました。令和5年度からは、「自立支援型地域ケア会議」と人称を明確にし、自立支援・重度化予防・地域づくりの視点を意識してもらうため、事例の選定や運営方法についての周知を図りました。また、基幹型地域包括支援センター主催による自立支援に資するケアマネジメント力の向上や地域課題の発見から政策形成への展開を目指し、外部講師を招いたオンライン形式による自立支援型地域ケア会議研修を年間9回開催しました。

【地域包括支援センター主催 自立支援型地域ケア会議】

センター	南街	上街	一宮	秦	下知	三里	大津	
回数	6	6	6	6	6	6	6	
センター	初月	朝倉	旭街	鴨田	潮江	長浜	春野	合計
回数	6	6	6	6	6	6	6	84

*その他随時開催：11回/年（内、助言者派遣2回）

参加メンバー：

民生委員，家族，住民，医師，歯科医師，薬剤師，管理栄養士，歯科衛生士，理学療法士，作業療法士，交番，弁護士，ケアマネジャー，介護保険サービス提供事業所，医療機関（相談員等），社会福祉協議会，生活支援相談センター，出張所，行政（福祉，障がい，精神，成人保健）※事例に応じて多職種が参加

【令和5年度～6年度 地域包括支援センター主催の自立支援型地域ケア会議の課題分析結果】

支援分類別の件数		支援手段別の件数	
支援分類	件数	支援手段	件数
社会参加支援	78	多職種連携	76
疾患に応じた支援	52	通所B事業	56
地域活動支援	48	その他の既存資源	54
ケアマネジメント支援	44	普及啓発	53
移動手段の確保	40	介護従事者の資質向上	47
社会資源の活用	37	住民グループ活動	38
孤独・孤立支援	36	訪問C事業	37
介護医療連携	35	ACP（人生会議）	30
栄養・口腔改善支援	32	社会資源づくり（既存以外）	27
専門的な支援	25	栄養改善活動	27
買い物支援	24	庁内連携	21
権利擁護支援	21	その他	19
認知症支援	20	ボランティア（こうち笑顔マイレージ以外）	17
健康改善支援	18	在宅医療介護連携事業	16
意欲低下の改善支援	15	訪問・移動スーパー	14
身体・生活機能改善支援	14	訪問B事業	12
ペット支援	13	健康講座	11
居住支援	13	ピアグループ活動	11
生活支援サービス	13	ネットスーパー	10
介護従事者支援	10	こうち笑顔マイレージ	9
その他	10	いきいき百歳体操	8
8050問題の支援	7	通所A事業	7
高齢者の就労支援	6	身元保証サービス	6
困窮者支援	5	認知症カフェ	4
大掃除・不燃物出し支援	5	チームオレンジ	4
金銭管理支援	5	成年後見制度	4
受診同行支援	4	認知症ケアパス	4
外出同行支援	3	認知症初期集中支援チーム	3
栄養改善支援	2	認知症サポーター養成講座	3
総計	635	死後事務委任契約	2
		日常生活自立支援事業	2
		かみかみ百歳体操	1
		キャラバンメイト養成講座	1
		しゃきしゃき百歳体操	1
		総計	635

【地域包括支援センター主催 自立支援型地域ケア会議】

最も多かったのは社会参加支援で、次いで疾患に応じた支援があげられました。それに対して、支援手段としては、多職種連携や通所型のサービス・活動 B 事業、既存の社会資源の活用が検討されていました。令和 6 年度は、昨年度までのまとめと少し異なる分析方法を用いて、地域ケア会議で抽出された課題分析を行いました。この表は全地域包括支援センターの集計結果ですが、各地域包括支援センター別に分析し、地域包括支援センターとも共有しました。

【基幹型地域包括支援センター主催 自立支援型地域ケア会議（オンライン）】

令和 6 年 7 月から、医療経済研究機構の外部講師の支援を受け、オンラインによる自立支援型地域ケア会議を開催しました。各回で 2 事例程度の多職種合同ケアカンファレンスを先駆的に開催している豊明市の手法を参考に、各 2 事例程度を個別事例から地域課題の把握、政策形成へと発展させる方法について学びました。その中で、インテーク時のアセスメントの重要性や、地域包括支援センターやケアマネジャーのアセスメントを補完するためのリハビリ専門職による同行訪問の必要性、また訪問型 C 事業の活用によるリエイブルメントの考え方の重要性が課題としてあがりました。

(7) 第 1 層協議体開催状況

これまで、高知市全域の地域課題を検討する第 1 層協議体で高齢者の孤立や生活課題、栄養課題などを議論し、政策形成に向けた話し合いを行ってきました。令和 5 年度より、認知症の行方不明者が増加しているという課題に対応するため「認知症になっても安心して外出できる街づくりを考える会」を発足し、高知市認知症 SOS ネットワークシステムの構築のため ICT 導入を検討していましたが、携帯アプリの運用休止により導入を見送り、現状報告と今後の方向性を年 1 回共有しました。また、認知症になっても安心して外出できる街づくりには認知症理解の促進が重要との意見を受け、令和 6 年度は国の補助金を活用して「認知症になっても安心して暮らし続けられる街づくりを考える会」を開催し、認知症当事者や専門医、居宅介護支援事業所など多機関とともに啓発ツール作成とその活用方法について年 4 回協議しました。

(4) 第 2 層協議体開催状況

第 2 層協議体では、既存の会議体や地域のネットワークを活用し、地域包括支援センターに専従配置された生活支援コーディネーターを中心に、第 1 層生活支援コーディネーターと協働しながら、地域の支え合い活動に取り組みました。地域ケア会議で検討された個別課題を、地域課題として整理・共有し、個別の課題解決に向けて、既存の地域資源を活用しつつ、必要な社会資源とのマッチングなどにも取り組んでいます。

令和 6 年度には、地域支え合いフォーラムにおいて生活支援コーディネーターの活動を報告し、市民にその存在と役割を周知する機会を設けるなど、地域住民とのつながりを深める活動も行っています。

ソ 在宅医療・介護連携の推進

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、医療と介護の連携を図るための「高知市入・退院時の引き継ぎルール」の策定（見直し）に参画しました。

また、将来の医療やケアについて、本人を一個人として尊重した意思決定の実現を支援するプロセスである ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発にも取り組んでいます。在宅で最期まで過ごすことを希望される方を支援するために、看取りの経過時期ごとに、関係職種の役割を可視化することで、多職種が連携して支えられるよう、「在宅看取りにおける経過時

期別連携シート」の作成も行っています。

さらに、高知県立大学の取り組みとして、入退院支援事業に参画し、医療との連携強化を図っています。令和5年度のモデル医療機関であった高知病院と協力し、入院時から訪問型サービスC事業の必要性が見込まれる事例については、退院前カンファレンスに参加し、サービス導入がスムーズに行えるよう、試行的な取り組みを進めています。

タ ケアマネジメント力向上に向けた取組

介護支援専門員の資質向上、キャリアアップのためには、専門職として抱える課題に応じて、必要な知識やスキルを習得するための研修会に参加する必要があります。資質向上に向けた研修の効果を高めるためには、事業所や地域で介護支援専門員を育成するOJT実施体制を構築させることが重要です。

高知市では、ケアマネジメントの専門性を示し、介護支援専門員が自分の課題を認識してスキルアップに取り組むための育成ツールとして、高知市介護支援専門員キャリアラダーモデル」の活用を呼び掛けてきました。

さらには、ケアマネジメント力の平準的向上のためのアセスメントツールとして「高知市共通アセスメント様式」を作成し、事業所で使用するアセスメント様式としてだけでなく、事業所や、地域での事例検討会、指導ツールとして幅広く活用いただくよう、様式の使用法や指導の展開方法に関する研修会を2回開催しています。

また、介護支援専門員のキャリアアップに繋がる体系的な研修実施体制の構築と、介護支援専門員が自らのキャリアアップに必要な研修を取捨選択し時間を有効活用できるよう、令和6年度から、高知県介護支援専門員連絡協議会、高知市居宅介護支援事業所協議会、高知市在宅医療介護支援センター、介護労働安定センター、高知県子ども・福祉政策部長寿社会課、高知市役所関係各課の共同で、研修内容等の役割分担を行い、年間研修スケジュールを作成し、インターネット上で公開しました。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
キャリアラダー活用率	42.9%	46.8%	44.4%
アセスメント様式活用率			37.0%

チ ケアプラン点検

高齢者が住み慣れた地域で本人の希望する生活を送るためには、自立支援を主眼に置き、利用者が真に必要とするサービスが、適正に提供される必要があります。

このため、各事業所で作成されたケアプランの検証・確認を行い、より良い支援が行えるよう書類審査やヒアリングを行いました。また、ヒアリングを実施した事業所に対しては、2か月後に再度事例を提出してもらい、書類審査を実施し、指摘箇所が改善したか確認をしました。

センター	東部	西部	南部	春野	北部	合計
対象事業所数	8	15	7	2	7	39
事例件数	7	14	7	2	7	37
ヒアリング件数	2	2	1	1	0	6

地域包括支援センターの事業計画については、第9期高齢者保健福祉計画の施策の方向性に沿って、「地域ぐるみの支え合いづくり」を基本理念とした、高齢者がいきいきと暮らし続けられる仕組みをつくることを目指します。地域包括支援センターとしての役割や目指すべき姿を明確にし、それらを実現するための具体的な目標設定や戦略方法を記載することを目的として、令和6年度からロジックモデルを取り入れた事業計画に見直しました。

令和6年度事業報告（各地域包括支援センター項目抜粋）

南街・北街・江ノ口 地域包括支援センター	<p>【第2層協議体の設置・ネットワークの構築】</p> <p>江ノ口ほおちよけんネットワーク会議を4回開催。</p> <p>江ノ口東地区「レンコンの会」では、「マンション住民の孤立化」という課題に対し、「移動式サロン（野点の会）」を企画したりするなど、地域課題の解決に向けた検討の場になりつつある。今後、社協やレンコンの会のメンバーと、第2層協議体への位置づけに向けて協議。</p>
上街・高知街・小高坂 地域包括支援センター	<p>【成年後見制度利用促進】</p> <p>知っちよいてノートの書き方講座を各百歳体操会場やサロン、個人向けなど計14回開催。「文字が大きくて見やすい」「細かいところまで内容があるから助かる」といった感想がよく聞かれた。</p> <p>成年後見制度の講座は15回開催。担当圏域にもNPO法人「土佐後見制度推進機構」の立ち上げがあり、毎月講座なども行っていることから、今後地域住民の参加を促していく。</p>
下知・五台山・高須 地域包括支援センター	<p>【いきいき百歳体操継続支援】</p> <p>担当圏域の30体操会場の継続支援ができた。東部健康福祉センターの参加者減少についてお世話役さんと一部の参加者の人と一緒に対策を検討した。社協にも相談し、チラシの掲示などについて情報提供を行うことで徐々に参加者も増えた。引き続き継続支援を行う。</p>
三里 地域包括支援センター	<p>【栄養改善活動の啓発】</p> <p>仁井田の買物コミュニティにおいて地域の元管理栄養士（難病を患い自宅レストラン営業を引退せざるをえなかった元町内会長夫人）によるレシピ案内のチラシを作って配布した活動について把握できたので、今後、栄養改善の取り組みとコラボ企画を模索していく。</p>
布師田・一宮 地域包括支援センター	<p>【いきいき百歳体操新規立ち上げ支援】</p> <p>チラシ作成を行い、町内会に配布したことで広く啓発もでき、10人～14人が参加頂ける重倉公民館の会場の立ち上げができた。お世話役からはみんなが継続的に参加できていることが嬉しい。立ち上げてよかったとの声も聞かれている。</p>
秦 地域包括支援センター	<p>【認知症カフェ運営支援】</p> <p>おしゃべりカフェ秦の運営について年度当初に関わる事業所間で検討し、毎月思考を凝らし、参加者が発信しやすい場を目指している。令和6年11月未来屋書店での認知症カフェを開催。今後3カ月毎の開催を目指している。</p>

<p>大津・介良 地域包括支援センター</p>	<p>【いきいき百歳体操継続支援】</p> <p>体操会場の参加者把握のため、お世話役との連携を取るように努めた。</p> <p>体力測定も担当圏域内 23 会場のうち半数の場所で実施でき、地域住民の方の感想も「こうやって体操に来ているからやね」と体操参加を肯定する意見がほとんどで継続意識が確認できた。</p> <p>大交流大会のポスター作成はできなかったが、のぼり旗を啓発・設置したことでのぼり旗を見て参加したいという声や、既に参加している人も来やすくなったとの意見もあった。</p>
<p>潮江 地域包括支援センター</p>	<p>【生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーター活動周知】</p> <p>33 か所以上で PR 実施。チラシ 212 部配布</p> <p>生活支援コーディネーターチラシ文面から顔写真付きにシフトし、体操会場やサービス・活動 B 事業所、ドラッグストアなど企業に役割説明などを行いながら配布した。2 月の支え合いフォーラムの参加者の反応をみると、生活支援コーディネーター全体の認知度は上がっていると感じる。支え合いフォーラムでは基幹型包括のバックアップの下、住民さんと一緒に取り組み内容を報告することができた。</p>
<p>長浜・御畳瀬・浦戸 地域包括支援センター</p>	<p>【介護予防・生活支援サービス事業】</p> <p>互助活動をしている住民に働きかけ、サービス・活動 B 通所事業の開設提案をし、「かつらはま」を新規に立ち上げることができた。</p> <p>もう一つの互助活動している「にゃんこ堂」にはサービス・活動 B 通所事業を PR し、自治活動の継続、住民同士のつながりづくりを強めることができた。</p>
<p>鴨田 地域包括支援センター</p>	<p>【認知症サポート事業 認知症ステップアップ研修】</p> <p>中山田団地と辰ノ尾団地の住民が、集合し西山市民会館にてコロナ禍以降初めてとなるステップアップ研修を市民対象に行うことができた。認知症ステップアップ研修を行うことはできたが、その後の活動への橋渡しまでは行えていなかった。</p>
<p>旭街 地域包括支援センター</p>	<p>【第 2 層協議体の設置・ネットワークの構築】</p> <p>旭やるかい！の開催：幹事会 6 回、定例会 6 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイ集まる会の開催：4 回実施 ・旭のデイサービス知っとく市の開催：1 回実施 ・おんちゃん作品展の開催：1 回実施 ・旭やるかい祭りの開催：1 回実施 ・ミニ支え合いフォーラムの開催：1 回実施 <p>災害 BCP に端を発した「デイサービスと地域の繋がり」をテーマに、様々な取り組みを行った。デイサービス同士の横のつながりの構築や介護保険になじみのない方への周知、デイと地域の繋がりの実例報告などを行った。</p>
<p>初月・鏡 地域包括支援センター</p>	<p>【高齢者虐待予防】</p> <p>高齢者虐待に関するミニ出前講座 5 回開催（民生委員児童委員協議会定例会・いきいき百歳体操会場・認知症カフェ・住民主体サロン）</p> <p>昨年度作成した高齢者虐待防止啓発用紙芝居を使用し、概要や早期通報の必要性が短時間で理解できるよう工夫した。</p>

	<p>【認知症カフェ運営支援】</p> <p>鏡笑顔カフェが月1回の開催，鏡梅ノ木の梅ちゃんカフェが2か月に1回開催，サロン化しており認知症の人や家族の参加継続が出来ていない。内容は7つのポイントをもとにしたものや認知症状に関する講座を行った。</p>
<p>朝倉 地域包括支援センター</p>	<p>【通いの場等での健康講座（ポピュレーションアプローチ）】</p> <p>中山間地区の健康・介護予防への意識付けのための健康講座は，行川地区にて年1回定期開催で定着してきた。</p> <p>他に宗安寺公民館を中心とした地域のコミュニティ再構築について意欲のある住民から声が上がリ，住民・市社協・県産業政策課とで話し合いを行った。</p>
<p>春野 地域包括支援センター</p>	<p>【認知症カフェ立ち上げ支援】</p> <p>四国調剤はるの薬局が主催で認知症カフェの新規立ち上げをすることができた。場所はサービス付き高齢者住宅「はるのガーデン」に協力をしていただき，令和7年2月15日にプレ開催を行うことができた。</p>
<p>とさやま出張所</p>	<p>【栄養改善活動の取組】</p> <p>生きがいデイサービス全域(11地区)で栄養改善講座を告知。1週間のお試し講座を全域で開催。皆さん，健康には興味があり，意欲的に取り組んでくださっていることが分かった。</p>

5 令和7年度地域包括支援センター事業計画
基幹型地域包括支援センター計画は別紙1参照
【各地域包括支援センター重点項目抜粋】

南街・北街・江ノ口 地域包括支援センター	<p>○ほおっちょけんネットワーク会議の役割強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の活動ではなく、市社協と包括支援センターが連携して運営。年4回開催を計画し、男性の居場所づくりや趣味活動の情報集約をテーマに議論を進め、社会資源冊子を作成予定。
上街・高知街・小高坂 地域包括支援センター	<p>○サービス・活動C訪問事業の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院前後のADL低下が認められる事例にはサービス・活動C訪問事業を勧め、利用申請につなげる。 ・サービス・活動C訪問事業開始事例に生活支援コーディネーターも同行訪問し、ニーズがあればインフォーマルサービスの情報提供や同行支援につなげる。
下知・五台山・高須 地域包括支援センター	<p>○認知症サポーター養成講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座を公民館等活用し、住民からのニーズに応じて取組む。特にMCIのチラシを作成し普及啓発に取り組む。
三里 地域包括支援センター	<p>○地域介護予防活動の普及・継続支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべてのいきいき百体操会場をまんべんなく巡回 ・いきいき百体操継続の効果や目標値となる体力測定を希望する会場にて実施 ・参加者を増やしたい会場で、いきいき百体操体験会・体力測定体験会を周知・開催。 ・要支援者が運動できる地区内アクティビティー（社会資源）をマップにまとめ周知。 ・担い手不足解消のためサポーター育成教室を三里地域で開催し、サポーター1人の会場から参加者を集める。
布師田・一宮 地域包括支援センター	<p>○生活支援体制整備事業</p> <p>交通の不便さ（足の問題）が大きな地域課題で、移動手段（乗り合いタクシーや巡回バス）の確保が難しく住民の不安も大きく、「足作り」は生活の基盤として最重要課題として、移動手段のための仕組みづくりの検討を進める。また、ゴミ捨て支援や見守りも地域課題で、住民や若い世代を巻き込みながら地域での支え合い活動を推進していく。</p>
秦 地域包括支援センター	<p>○秦地区でのミーティングセンター立ち上げ・継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秦地区で認知症地域支援推進員と生活支援コーディネーターが中心となってミーティングセンターを立ち上げる。 <p>○認知症の本人発信する機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の医療機関にもミーティングセンターについて知ってもらう。参加した家族や当事者の意向を反映した内容で開催する。
大津・介良 地域包括支援センター	<p>○資源立ち上げを目的とし、介良潮見台のネットワークづくりに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市社協「ほおっちょけん困りごと解決委員会（仮称）」の発足に向けた勉強会参加（令和8年2月頃） ・高知市の地域に関する担当課（地域防災福祉部会・地域コミュニティ推進課・高知市社協・包括）で開催していた「介良会（仮称）」「大津会」の復活を提案する
潮江 地域包括支援センター	<p>○第二層協議体開催支援と地域課題の検討</p> <p>潮江東小学校地域連携協との関係性の強化と多世代交流の場づくりを構築する。潮江中学校の学生と地域作りについて考える会に参加し、ボランティア活動への協力を行う。</p> <p>潮江南小学校区の南小まちづくりの会に参加し、地域活動の場を構築する。</p>

長浜・御畳瀬・浦戸 地域包括支援センター	<p>○介護予防普及啓発</p> <p>デイサービスやヘルパーの利用相談があったら、現状を確認し、従来サービス対象外と判断された方には、サービス利用のデメリットとして体力低下も考えられることと、いきいき百歳体操参加にフレイル予防効果がある事を説明する。</p> <p>民協や町内会時にいきいき百歳体操の介護予防効果について話し、地域のいきいき百歳体操を盛り上げることの必要性を説明する。</p>
鴨田 地域包括支援センター	<p>○第二層協議体の開催支援と地域課題の検討</p> <p>地域課題や地域の困り事の共有する場を設けて、ネットワークの構築を行う。第2層協議体の母体でもある、鴨田校区町内会連合会の役員会で振り返りを発表して、再度役員や住民に周知していく。</p>
旭街 地域包括支援センター	<p>○イオン閉店後の地域課題</p> <p>イオンの閉店に伴い、地域住民への影響や買い物が困難となった方に対し、社会資源とのマッチングや、社会資源発掘のため周辺の地区踏査を実施予定。地域の最優先課題であるため、行政各所と協働し、早急に課題把握も必要。また、情報収集して情報提供ツールを作成予定。</p>
初月・鏡 地域包括支援センター	<p>【初月地区】</p> <p>○新しい認知症観の普及啓発、認知症カフェの新規立ち上げ</p> <p>認知症に関する普及啓発に取り組み、生活支援コーディネーターと看護師協働でサポーター養成講座及びステップアップ研修の開催検討。更にニーズのある地域で認知症カフェの立ち上げに向けた検討。</p>
	<p>【鏡地区】</p> <p>○フレイル予防・担い手発掘</p> <p>中山間部で人口減少・高齢化率も高く、地域のお世話役の後継者問題が地域課題として大きい。住民の多くが農家であることから、限界まで働いており、相談時にはフレイルが進行していることから、若い年代からフレイル予防の重要性について伝える機会と人材発掘のため介護予防教室、いきいき百歳体操体験会などを企画予定。</p>
朝倉 地域包括支援センター	<p>○第二層協議体での地域課題検討</p> <p>既存の団体（朝倉第二小学校区地域内連携協議会部会、医療生協支部会、福祉委員会、朝倉まちづくりの会）の活動に関与し機会を捉えて地域課題を提案。令和6年度、地区のコミュニティ再構築について声があがっていた宗安寺地区の住民と共に地域課題を検討、事業化に向けた検討を行う。</p>
春野 地域包括支援センター	<p>○訪問型C利用促進</p> <p>退院情報を得た事例を1週間以内に訪問して、退院後の体力低下、気力低下、フレイルが考えられた事例にサービス・活動C訪問事業を勧め、利用申請につなげる。</p> <p>また、サービス・活動C訪問事業開始事例に生活支援コーディネーターが同席し、ニーズを見出す。必要な社会資源につなげる。</p> <p>デイサービスやヘルパーの利用相談があったら、現状を確認し、従来サービス対象外と判断された人には、サービスを使い始めると自らの体は弱ることと、いきいき百歳体操参加にフレイル予防効果があることを説き、自力ではいきいき百歳体操会場までの歩行が難しそうな人にサービス・活動C訪問事業を勧める。</p>
とさやま出張所	<p>○認知症カフェの開催支援</p> <p>市社協と協働で認知症カフェの立ち上げに向けた検討を行う。認知症に対する偏見が強い地域、新しい認知症観の普及啓発に取り組む。</p>

6 資料

(1) 指定介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメント業務を委託している居宅介護支援事業所一覧（令和7年3月実績より）

（東部圏域）

No.	委託事業所	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	合計
1	居宅介護支援事業所 海の里	0	19	19	38
2	居宅介護支援事業所 おおつ	1	12	16	29
3	居宅介護支援事業所 かのん	0	16	17	33
4	居宅介護支援事業所 クララ	0	2	6	8
5	高知県庁生協介護福祉センター	0	6	7	13
6	高知厚生病院指定居宅介護支援事業所 こうせい	0	6	7	13
7	居宅介護支援事業所 高知高須	0	1	8	9
8	高知調剤居宅介護支援事業所	0	4	2	6
9	居宅介護支援事業所 こはる	0	10	17	27
10	居宅介護支援事業所 さわらび	0	18	14	32
11	医療法人久会 居宅介護支援事業所しもぢ	0	3	6	9
12	居宅介護支援センター 城見	0	2	20	22
13	居宅介護支援事業所 スタイル	0	14	14	28
14	居宅介護支援事業所 だいいち	0	2	8	10
15	居宅介護支援事業所 たんぽぽ	0	8	12	20
16	ケアプランセンタートマトの樹	0	34	31	65
17	居宅介護支援事業所 とらすと	0	34	24	58
18	居宅 花さか爺	0	8	6	14
19	在宅ケアセンターはる	0	39	42	81
20	居宅介護支援事業所 マリン	0	2	9	11
21	居宅介護支援事業所 メルシィ	0	27	21	48
22	居宅介護支援事業所 結いまある	0	12	14	26

23	居宅介護支援 りはびっと	0	6	6	12
24	ケアマネステーション りんくす	0	24	23	47

(西部圏域)

No.	委託事業所	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	合計
1	居宅介護支援事業所 アールハーツ	0	2	10	12
2	居宅介護支援事業所 あかり	2	10	14	26
3	居宅介護支援事業所 あさかぜ	1	3	5	9
4	高知市在宅介護支援センターあさくら	0	3	2	5
5	居宅介護支援事業所 あったか！合同会社	0	3	6	9
6	居宅介護支援事業所 あっとホーム	0	21	23	44
7	居宅介護支援事業所 あんず	0	18	16	34
8	居宅介護支援事業所 梅ノ木	0	1	7	8
9	ケアプランセンター えん	0	4	6	10
10	独立行政法人地域医療機能推進機構高知西病院付属居宅介護支援センター	0	13	19	32
11	居宅介護支援事業所 心愛	0	19	24	43
12	居宅介護支援事業所 さつき	0	8	25	33
13	居宅介護支援事業所 シリウス	0	14	18	32
14	ケアセンター ソレイユ	0	26	23	49
15	居宅介護支援事業所 たいよう	0	7	13	20
16	ツクイ高知神田	0	5	9	14
17	居宅介護支援事業所 長瀬	1	6	8	15
18	居宅介護支援事業所 廿代	0	0	5	5
19	居宅介護支援事業所 ハッピーケアこうち	0	3	7	10
20	在宅ケアセンターはる 西	0	9	25	34
21	ピアハウス高知 居宅介護支援事業所	1	23	25	49

22	居宅介護支援事業所 陽だまり	1	7	19	27
23	ケアセンター フィレール	0	16	27	43
24	ふくいの居宅介護支援事業所	1	27	52	80
25	居宅介護支援事業所 ポム	1	16	33	50
26	居宅介護支援事業所 繭合同会社	0	1	5	6
27	居宅介護支援事業所 まろ	1	25	47	73
28	在宅ケアセンターみかづき	0	5	14	19
29	有限会社 明和総合サービス	0	12	6	18
30	福祉ステーションやさしいグループ	0	8	11	19
31	山村病院居宅介護支援事業所	0	4	12	16
32	居宅介護支援事業所 結心	0	0	3	3
33	居宅介護支援事業所 よつば	0	10	5	15
34	ケアプランセンターLib	0	11	13	24
35	居宅介護支援事業所 ロング・フィール ルド	0	3	9	12

(南部圏域)

No.	委託事業所	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	合計
1	アートケア・居宅支援事業所	0	4	2	6
2	居宅介護支援事業所 アイエムシー	0	10	7	17
3	アシスタント高知	0	5	9	14
4	うしおえ居宅介護支援事業所	0	16	10	26
5	指定居宅介護支援事業所 梅の辻	0	9	10	19
6	居宅介護支援事業所 桂浜	0	13	16	29
7	居宅介護支援事業所 ケアマネ！高知	0	34	39	73
8	高知中央居宅介護支援事業所	0	17	13	30
9	居宅介護支援事業所 心音	0	8	4	12

10	居宅こ結び	0	26	24	50
11	さくらケアマネステーション	0	5	10	15
12	ライフサポートすみれ	0	6	8	14
13	指定居宅介護支援事業所 瀬戸虹の夢	0	2	4	6
14	居宅介護支援事業所 つばさ	0	0	3	3
15	居宅介護支援事業所 英	1	3	7	11
16	医療法人互光会 居宅介護支援事業所 ひかり	0	3	9	12
17	居宅介護支援事業所 ポラリス	2	10	18	30
18	森の里居宅介護支援事業所	3	19	22	44

(北部圏域)

No.	委託事業所	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	合計
1	ケアプランセンターあおい	0	0	3	3
2	居宅介護支援事業所「一宮」	1	8	8	17
3	居宅介護支援事業所 グランボヌール	1	14	16	31
4	ケアサポートセンターほそぎ	0	3	4	7
5	里の光	0	3	3	6
6	島津病院居宅介護支援	0	8	10	18
7	居宅介護支援事業所 しんぼり	0	2	8	10
8	居宅介護支援事業所 月ぬ美しゃ	5	25	22	52
9	社会福祉法人高知市社会福祉協議会 土佐山居宅介護支援事業所	0	4	3	7
10	ニチイケアセンター愛宕	0	3	15	18
11	居宅介護支援事業所 まるごと応援隊	0	9	5	14
12	居宅介護支援事業所 ミカリ	0	7	5	12
13	居宅介護支援事業所みやび	0	23	14	37
14	指定居宅介護支援事業所 ヤード	0	3	3	6

15	居宅介護支援事業所 ゆう	0	17	12	29
16	居宅介護支援事業所 らいと	0	1	2	3
17	居宅介護支援事業所 わかば	0	2	4	6

(春野圏域)

No.	委託事業所	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	合計
1	居宅介護支援事業所 それいゆ	1	1	5	7
2	永井居宅介護支援事業所	0	3	11	14
3	居宅介護支援事業所 はるの若菜荘	0	15	6	21
4	居宅介護支援事業所ほのぼの	0	7	8	15
5	居宅介護支援事業所 まさき	1	7	8	16

(市外)

No.	委託事業所	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	合計
1	横浜市大場地域ケアプラザ	0	1	0	1
2	居宅介護支援事業所 かなで	1	8	15	24
3	居宅介護支援事業所ケアサポートあき	0	1	1	2
4	ケアマネセンター こじやリハぷらん	0	1	0	1
5	ケアマネステーション 虹のそら	0	0	1	1